

ごあいさつ

新庁舎の竣工にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当町は、平成17年の旧佐久町・旧八千穂村の町村合併以来、既存の2つの庁舎をそのまま利用してまいりました。佐久庁舎は昭和44年、八千穂庁舎は昭和34年に建築されており、耐震診断の結果は、どちらの庁舎も耐震性不足で非常に危険なうえ、耐震改修が事実上不可能であるとのことでした。

この結果を受け、町長就任以来、新庁舎建設事業においては、常にスピード感を持って取り組んでまいりました。

新庁舎の設計においては、必須でないスペースを極力省き、共有できる部分を考慮して、できる限り延床面積を抑えた庁舎といたしました。そのうえで、災害対策となる、制震構造の採用・浸水想定分の地盤の嵩上げ・2階に受電設備や自家発電機の設置・町民の一時的な緊急避難場所を想定した大きな庇（ひさし）の設置と3階議場床のフラット化をしてあります。

庁舎の内装材には、来庁者の皆様に見ていただけるエリアを中心に、佐久穂町産のカラマツを多用しました。外部の腰壁材には、佐久穂町産の鉄平石を使用しています。質の高いカラマツや鉄平石の美しさと温かみを感じていただけたら幸いです。

また、再生可能エネルギーの積極的な利用を考え、エントランスの空調には年間を通して変化の小さい地中の温度を利用した地中熱利用設備や、屋根には太陽光発電パネルを設置して、二酸化炭素排出抑制に寄与する庁舎といたしました。

結びに、新庁舎建設にあたり、深いご理解とご協力をお寄せいただきました町民の皆様と、関係各位に深く感謝の意を表するとともに、今後も町民生活の安全と住民サービスの向上のため、より一層の努力を続けていくことをお約束して、私のあいさつとさせていただきます。

佐久穂町長 さ さ き まさる 佐々木 勝



佐久庁舎（築51年）



八千穂庁舎（築61年）